

照明器具用 リモコンアダプタ (100V配線ダクト用)

品番 **HK9359**
(ホワイト)

HK9359B
(ブラック)

HK9359S
(シルバーメタリック)

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に
保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使うって上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。



してはいけない内容です。



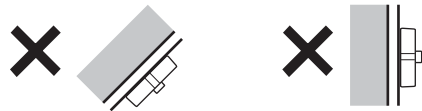
実行しなければならない内容です。

警告

■次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・傾斜天井に縦向き取り付けされた配線ダクト
- ・壁面に縦向き取り付けされた配線ダクト



●この器具は天井面・壁付(配線ダクト横方向)配線ダクト取り付け専用です。

■アルカリ系洗剤は使用しない

強度低下により破損し、落下するおそれがあります。

■濡れた手で器具、配線ダクトにさわらない
守らないと、感電のおそれがあります。

■布や紙など燃えやすいものをかぶせない
火災のおそれがあります。

■交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)に
ご相談ください。

■次のような配線ダクトには取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・ガタつく、破損、変形しているもの



- ・ダクトカバーが付いていない
- ・取付高さが1.8m未満

電気設備技術基準
解釈第185条に準
じていないもの

●配線ダクト設置、交換が必要です。
配線ダクト設置、交換には資格が必要です。
販売店、工事店に依頼してください。

●ダクトカバーがない場合は別途お求めください。

●パナソニック製100V用配線ダクトと組み合わせることを推奨します。

■器具に無理な力を加えない

守らないと器具が破損し、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ぶら下がったり、体重をかけたりしない。
- ハンガー、小物などをぶら下げない。

■器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



禁止







必ず守る



分解禁止


⚠ 注意

 必ず守る	<p>■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。 ●1年に1回は同梱の「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。</p>	
 水ぬれ禁止	<p>■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない 火災、感電の原因となることがあります。 ●この器具は防湿、防雨型ではありません。</p>	 禁止 <p>■温度の高くなるものを器具の真下に置かない 火災の原因となることがあります。 ●器具の真下にストーブなどを置かないでください。</p>
 禁止	<p>■蛍光灯器具を接続して、負荷切替スイッチを白熱灯(連続調光)にしない 火災の原因となることがあります。</p>	<p>■他の調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。 ●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)</p>






ご使用上のご注意

- このリモコンアダプタは器具質量1.5kg以下の配線ダクト用スポットライト、ペンダント専用です。
- パナソニック製の照明器具およびパナソニック製ランプと組み合わせてご使用ください。
- 必ず壁スイッチと併用してご使用ください。
 - ・リモコンがない場合、またはリモコンの電池が消耗した場合、点灯・消灯ができません。
 - ・壁スイッチをOFFにしなければ、待機電力を消費します。
- この器具の近くでは光高周波方式のリモコンが作動しない場合がごくまれにありますので、ご注意ください。
- 室温が低いと(10℃以下程度)点灯直後、リモコンでは切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替え操作してください。
- 調光機能付白熱灯器具、LED照明器具、リモコン内臓照明器具、壁スイッチでも点灯切り替え機能付の照明器具と組み合わせて使用できません。
- リモコンタイプのインテリアダクトとの併用はできません。
- 負荷切替スイッチを白熱灯に選択している場合、蛍光灯(パルックボール含む)は使用できません。
- 電球形蛍光灯をご使用の場合、リモコンでの消灯直後や電球交換時などに一瞬点灯するものがありますが異常ではありません。
- リモコンは用途に応じて別途お求めください。



負荷容量について

 警告	負荷切替スイッチ	負荷容量制限	注意事項
<p>■負荷容量制限以上の器具を取り付けしないでください 火災のおそれがあります。</p>	白熱灯	40～60Wまで	●白熱灯モードにて蛍光灯器具を取り付けますとチラツキが発生したり、故障の原因となりますので蛍光灯モードに切り替えてご使用ください。
	蛍光灯	25W 1灯まで (ただし、ツイン パルック蛍光灯 70W (FHD70) 1灯は可能)	●蛍光灯モードにて白熱灯器具を取り付けますと調光操作ができなくなりますので白熱灯モードに切り替えてご使用ください。

負荷切替スイッチについて

白熱灯を操作する場合	蛍光灯を操作する場合	負荷がわからない場合
負荷切替スイッチが 白熱灯  に  になっていることを確認する	負荷切替スイッチが 蛍光灯  に  になっていることを確認する	接続する負荷が未定またはわからない場合は 蛍光灯  に切り替えてください

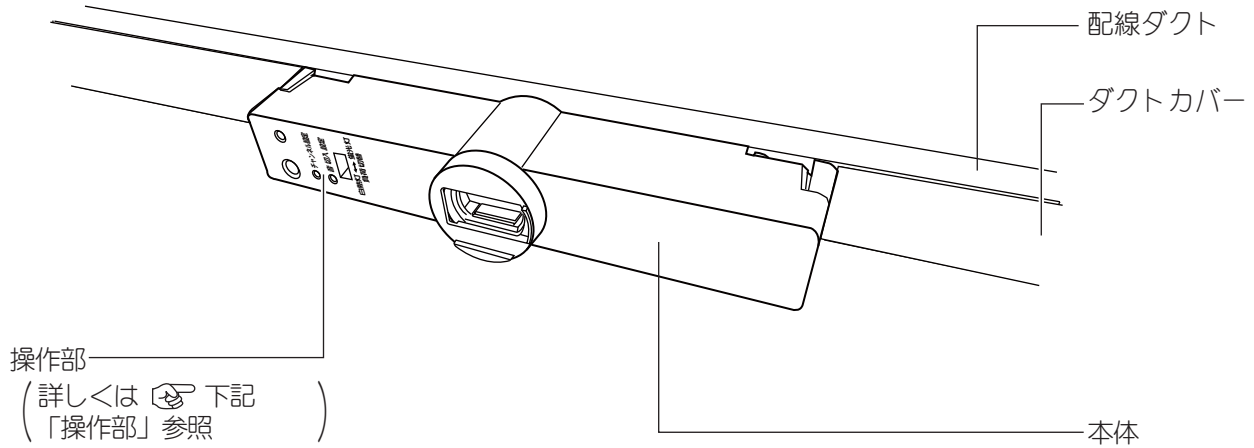
※負荷切替スイッチを切り替える場合は、先の細い物で切り替えてください。

 注意	
<p>■蛍光灯が接続されている場合に、負荷切替スイッチの設定を</p> <p>白熱灯  にすると火災、器具故障の原因となります</p>	

メモ ●工場出荷時は蛍光灯に設定されています。

各部のなまえとはたらき

リモコンアダプタ



操作部

モニターランプ

負荷点灯中は赤色のランプが点灯します。

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください)

チャンネル設定スイッチ

リモコンのチャンネルを変更する場合に使用します。
6 ページ「器具のチャンネルを変更する」参照

負荷切替スイッチ

接続する照明器具に合わせ「白熱灯」または「蛍光灯」に切り替えます。

音 切 入 設 定 ス イ ッ チ

押すごとにリモコン操作時の音を切入します。
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

●工場出荷状態に戻す場合

使いかた：チャンネル設定スイッチと音切入設定スイッチを先の細い物で同時に2秒押す ⇨ 「ピッ」と音がして設定完了

この操作を行うと下記ようになります

- ①照明器具は全灯になります。
- ②音切入設定スイッチが「入」になりリモコン操作時の音が鳴ります。ただし、リモコンのチャンネルは I-2 になります。

●リモコンのチャンネル設定やリモコンのシーンおよびお好みの明るさ設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

6 ページ

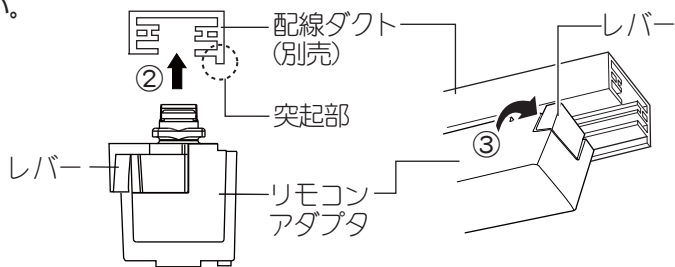
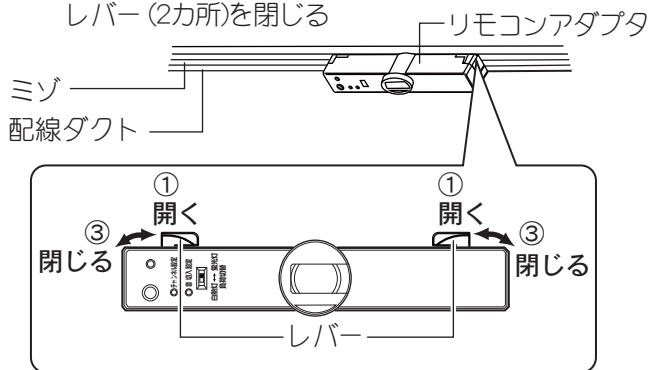
「リモコンのチャンネルを変更する」参照
(シーンやその他、詳細な設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください)

1 配線ダクトにリモコンアダプタを取り付ける

【天井付けされた配線ダクトに取り付ける場合】

●取付高さが1.8m未満の配線ダクトには取り付けないでください。

- ①リモコンアダプタのレバー (2カ所) を開く
- ②レバーを突起の逆側に合わせる
(レバーを突起側に合わせると取り付けできません)
- ③リモコンアダプタを配線ダクトのミゾに合わせ、
レバー (2カ所) を閉じる



【壁付けされた配線ダクトに取り付ける場合】

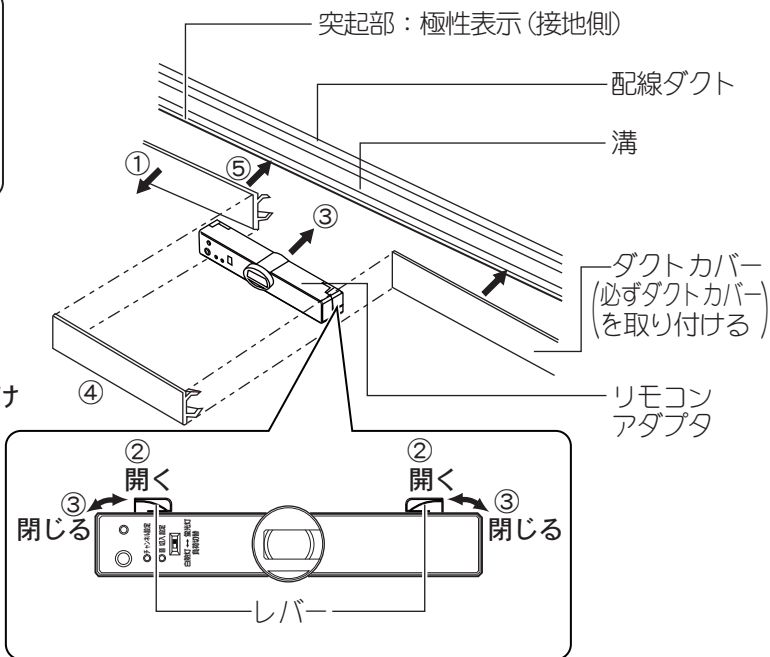
●取付高さが1.8m未満の配線ダクトには取り付けないでください。

●配線ダクトの突起部：極性表示 (接地側) が床側となっていることを確認してください。

※天井側となっている場合は工事店、電気店に付け替えを依頼してください。

(付け替えには資格が必要です。)

- ①配線ダクトからダクトカバーを外す
- ②リモコンアダプタのレバー (2カ所) を開く
- ③リモコンアダプタを配線ダクトの溝に合わせ、
レバー (2カ所) を閉じる
- ④リモコンアダプタを取り付けた位置に合わせて、
リモコンアダプタの幅分のダクトカバーを切断する
- ⑤配線ダクトにダクトカバーをはめ込む



確認

- 取り付け後レバーを開かずにリモコンアダプタを少し引っ張り、リモコンアダプタが配線ダクトから外れないことを確認してください。
- 隣接する照明器具やリモコンアダプタとの間隔は15cm以上はなしてください。

警告

無理な力を加えて取り付けない
守らないと器具が破損し、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

2 照明器具 (別売) を取り付ける

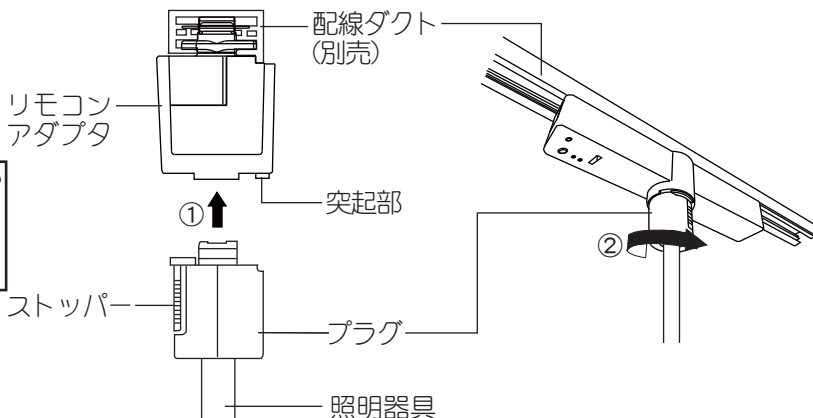
- ①ストッパーをリモコンアダプタの突起の逆側に合わせる (レバーを突起側に合わせると取り付けできません)
- ②プラグを右に90度回す

警告

器具質量1.5kgを超えるペンダントやスポットライトを取り付けない
守らないと、器具が破損し火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

確認

- 取り付け後ストッパーを下げずに回し、外れないことを確認してください。



3 負荷切替スイッチを設定して、壁スイッチをONにする

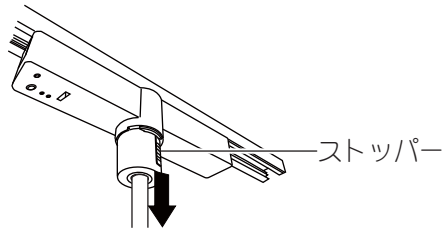
ランプの種類 (蛍光灯または白熱灯) に合わせて切り替える

☞2ページ「負荷切替スイッチについて」参照

照明器具 (別売) の取り外しかた

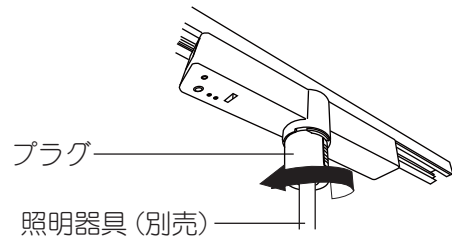
1 プラグのストッパーを下げる

照明器具 (別売) を支えながら、プラグのストッパーを下げる



2 照明器具 (別売) を外す

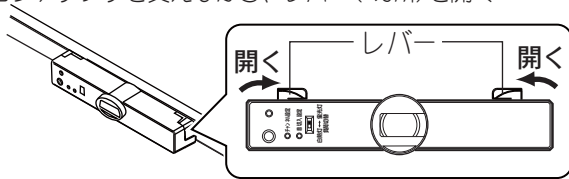
照明器具 (別売) を支えながらプラグを左に回す



リモコンアダプタの取り外しかた

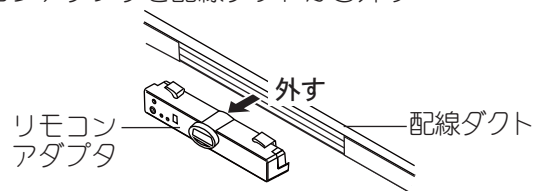
1 リモコンアダプタのレバーを開く

リモコンアダプタを支えながら、レバー (2カ所) を開く



2 リモコンアダプタを外す

リモコンアダプタを配線ダクトから外す



リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、リモコンアダプタに向けて操作してください

別売のリモコンと組み合わせて、お使いください。

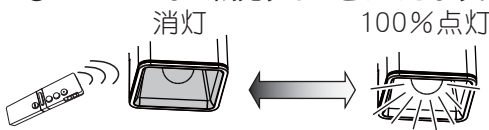
白熱灯を操作する場合 (白熱灯の明るさを変えることができます。)	蛍光灯を操作する場合 (蛍光灯をON/OFFすることができます。)
HK9327K	HK9339
HK9392K (タイマーの機能があります。)	HK9328K
HK9323 (タイマー、アラームの機能があります。)	<ul style="list-style-type: none"> 左記の「白熱灯を操作する場合」のリモコンが全て使えます。
HK9394 (4つまでのあかりのシーンが記憶できます。)	

リモコンでの操作

白熱灯を操作する場合

壁スイッチでの操作

●0~100%まで調光することができます。



(HK9327Kの使用例)

操作ボタン	負荷切替スイッチ 白熱灯
明	0→100%まで調光可能
暗	100→0%まで調光可能
全灯	100%点灯
好み	リモコンで設定した任意の明るさで点灯
25%	25%点灯
消灯	消灯

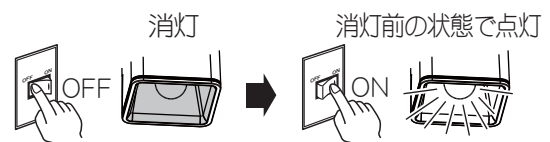
(HK9394の使用例)

操作ボタン	負荷切替スイッチ 白熱灯
ON/OFF	100%(任意) ↔ 消灯
明	0→100%まで調光可能
暗	100→0%まで調光可能
全消灯	消灯

※詳しい操作方法はリモコンの説明書をご参照ください。

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の状態で点灯します。「好みの明るさ」でOFFすると、次にONしたときは「好みの明るさ」で点灯、「全灯」でOFFすると、次にONしたときは「全灯」で点灯します。



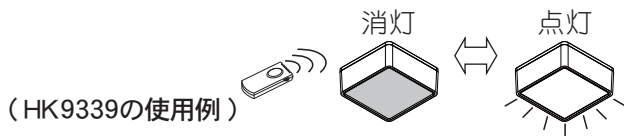
メモ

●リモコンで「消灯」した後に壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONしても「消灯」のままです。

蛍光灯を操作する場合

リモコンでの操作

●ON/OFF操作することができます（調光できません。）



（HK9339の使用例）

操作ボタン	負荷切替スイッチ 蛍光灯
○	消灯 ↔ 点灯

（HK9394の使用例）

操作ボタン	負荷切替スイッチ 蛍光灯
ON/OFF	消灯 ↔ 点灯
明	点灯
暗	消灯
全消灯	消灯

リモコン各部のなまえとはたらき（HK9394の使用例）

※ 詳細な操作・機能に関しましては、ご購入頂きましたリモコン送信器の取扱説明書をご参照願います。

チャンネル切り替えボタン

操作したい照明器具のチャンネルに合わせて使います。

- ・ I-1～I-4、II-1～II-4 までの8チャンネルまで切り替え可能。
（お買い上げ時：I-2）

ON/OFF切り替えボタン

蛍光灯器具のあかりの切り替えと白熱灯器具の点灯、消灯の切り替えができます。

明・暗ボタン

蛍光灯器具のあかりの切り替えと白熱灯器具明るさ（100～0%）を調整することができます。

シーン記憶ボタン

お好みのあかりのシーンを各リモコン照明器具に記憶させることができます。

- ・ 最大4シーン記憶可能。
- ・ 前面パネルを閉じるとシーン切り替えボタンになります。

モニターランプ

送信中またはリモコン送信コード変更時に点滅します。

シーン切り替えボタン

記憶させた4つのあかりのシーンを切り替えることができます。

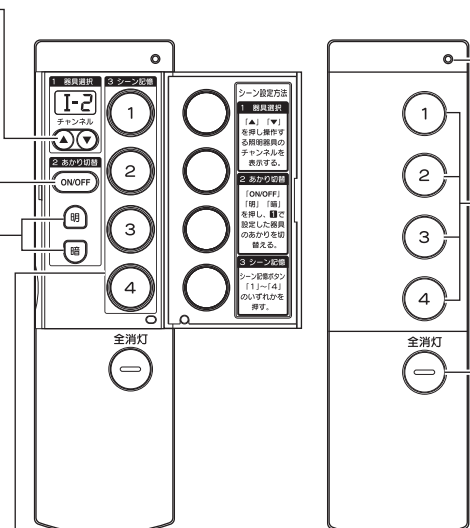
- ・ シーン切り替えボタン④は暗間でも光る蓄光ボタンです。

メモ

- 蓄光ボタンは太陽光や照明器具の光を蓄えて発光しますので時間の経過や温度変化により明るさは変化します。

全消灯ボタン

リモコン照明器具を一斉に消灯することができます。



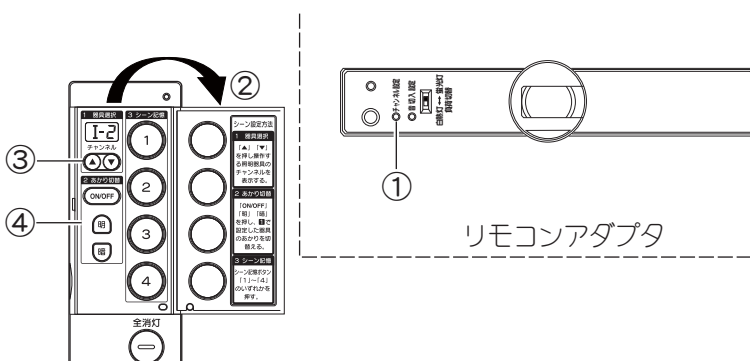
リモコンのチャンネルを変更する

お買い上げ時のチャンネルはI-2に設定しています

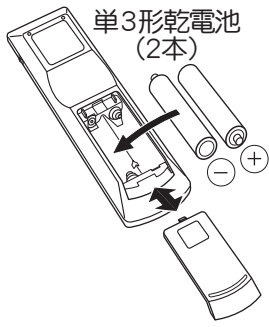
リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数のリモコンアダプタやリモコン照明器具が操作できます。

- ① リモコンアダプタのチャンネル設定スイッチを先の細い物で押す
- ② リモコンの前面パネルを開ける
- ③ リモコンの「▲」「▼」を押し操作する
リモコンのチャンネルを表示する
（8チャンネルまで切り替え可能。）
（照明器具が I-2）
（I-2の場合 チャンネル）

- ④ リモコンの「ON/OFF」「明」「暗」のいずれかのボタンを押す
→「ピーーツ」と音がして設定完了



電池交換について



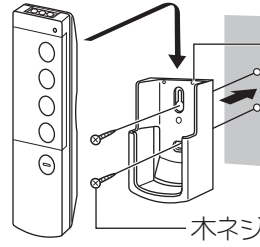
電池交換時期の目安

・乾電池は半年を目安に交換してください。

注意

- ・指定以外のものや新・旧の電池を混ぜて使わない。
- ・極性表示の通り \oplus \ominus を正しく入れる。
- ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

リモコンボックスについて



リモコンボックス

紛失防止用に壁掛け収納できます。

- リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコンで消灯したままリモコンを紛失した	受信器を工場出荷状態に戻す (☞3ページ「工場出荷状態」に戻す場合参照) 以降、壁スイッチでON/OFFしてください。
	負荷容量制限を超えている	負荷容量を確認し適合負荷容量にする (☞2ページ「負荷容量について」参照)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する (☞7ページ「電池交換について」参照)
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる (☞7ページ「電池交換について」参照)
	リモコンとリモコンアダプタのチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを合わせる (☞6ページ「リモコンのチャンネルを変更する」参照)
リモコンで白熱灯を調光できない	負荷切替スイッチが蛍光灯側になっている	白熱灯側にする (☞2ページ「負荷切替スイッチについて」参照)
取り付けできない	配線ダクトの突起とリモコンアダプタの方向が合っていない	方向を合わせる (☞4ページ「リモコンアダプタと照明器具を取り付ける」手順1参照)
	適合外の配線ダクトを使用している可能性がある	適合した配線ダクトをお買い求めください (☞1ページ「安全上のご注意」の警告欄参照)
壁スイッチまたはリモコンで蛍光灯がちらつく(正常点灯しない)	負荷切替スイッチが白熱灯側になっている	負荷切替スイッチを蛍光灯側に切り替える それでもちらつく場合は、リモコンアダプタの破損が考えられますので、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

左記の処置を行っても現象が続く場合

電源をいったん切り、再度入れる
(20秒以上切ってください)

- 電源をいったん切るとチャンネル設定が変わる可能性があります。その際は設定し直してください。(☞6ページ「リモコンのチャンネルを変更する」参照)

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
 - ・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損のおそれがあります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力
AC100V	50/60Hz共用	1W以下

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「修理ご相談センター」へ!
- その他は、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

（ランプなどの消耗品は除きます。）

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■ 補修用性能部品の保有期間 **6年**

この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。

注) 補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容

①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況(できるだけ具体的に)

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

- 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電気株式会社

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

インテリア照明事業部

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008